

2022年4月20日

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 鷹の台ひとえん会

代表者・役職名 氏名 田中 まほみ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

鷹の台駅周辺地区活性化プロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成30年初頭、「小平市民等地区まちづくり条例」という制度があることを知り、これを用いて活動団体を立ち上げることにしました。同時に、自らの思いを「6つのテーマと7つの課題」としてまとめた「鷹の台ひとえん会 ビジョン案」を作成し、各方面にアナウンスした。これに応えて小平市民10数人が集まり、令和元年5月1日「鷹の台ひとえん会」が発足。手探りで始めたまちづくり活動も、現在会員32名にて三期目を終えようとしています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

鷹の台ひとえん会は、この地で発足以来3年間にわたり、まちづくりをテーマに10回以上、講演会・ワークショップなどを実行してきました。地元住民の参加者、応援して下さる有識者も徐々に増加。小平市からは、「地区まちづくり準備会」としての登録認定も受けています。これまでも、そしてこれからも、行政と地区住民との橋渡し役として、しっかりと機能していきたいと考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

鷹の台に新しくできる都市計画公園をテーマに、講演会・ワークショップを開催するとともに、鷹の台のまちづくりの提案をポスターにまとめ商店街に提示することで、地区住民のまちづくり気運の醸成を図ります。そして地区住民の声を集め、これを市の施策に反映させることを目指します。Park-PFI制度の導入をはかり、市民参加の公園づくり、まちづくりを実現させます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

6月に「みんなでつくろう考え方 鷹の台の街と公園」と称して、講演会+ワークショップを開催。24名の参加。12月にイケさんパーク・キッズパーク見学会実施。4名参加。3月に「鷹の台のまちと公園を語る会」開催。29名参加。以上真如苑事業として3つの活動を実施。また、「まちづくり準備会」活動として、商店街の再生をテーマとして3回のセミナーを開催しました。以上の活動を通してまとめた鷹の台のまちづくり計画をポスターとしてまとめ商店街に提示。その結果、小平市の公園課に活動が評価され、ヒアリングの対象となり11月1日実施。その後、小平市が開催予定の公園計画ワークショップ開催の協力要請をいただきました。また、当会新規会員も4人増加。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍での活動のため、ZOOMやホームページなどWEBの活用をさらに推進することが課題です。また、講演会参加者など新たに出会った方々との継続的な意見交換ができる仕組みを考えたいと思います。

また、令和4年度は小平市との交流を深めるべく、「地域まちづくり準備会」から「地域まちづくり協議会」へのステップアップを推進します。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

講演会 参加無料 どなたでもお気軽にご参加ください

みんなで作ろう考え方 鷹の台の街と公園

～鷹の台 新公園計画への提案～

6月27日日 13:30～16:30
(13:15開場)

場所：小平市小川公民館 2階ホール
会場定員 30名 (先着順)
来場される方はマスクのご着用をお願いいたします。

メールにてお申し込みください

下記メールアドレスへお名前と参加人数をおしらせください。

hitoenkai@plant2.qcweb.jp



オンラインでの同時配信も予定しています

オンライン配信をご希望の方は、お申し込みメールにその旨をご記載ください。

講演1

公園を中心とした鷹の台のまちづくり～コミュニティ・コアの提案 Part 2～



相馬 一郎

SC 経営士
元 (株)ストリーム代表



田中 まほみ

鷹の台ひとえん会代表
積水ハウス(株) 設計部部長

講演2

学んでから玉川上水を楽しむ～小さな博物館の提案～



高槻 成紀

元 麻布大学教授 保全生態学
玉川上水花マップネットワーク代表
玉川上水みどりといきもの会議代表

主催：鷹の台ひとえん会

この事業は真如苑の助成を受けて実施しています。



講演会 みんなで作ろう考え方 鷹の台の街と公園 ～鷹の台 新公園計画への提案～

- 13:30~13:35 ●ごあいさつ
13:35~14:35 ●講演1 公園を中心とした鷹の台のまちづくり～コミュニティ・コアの提案 Part 2～他
14:40~15:45 ●講演2 学んでから玉川上水を楽しむ～小さな博物館の提案～
15:45~16:00 ●まちづくり協議会設立に向けて
16:00~16:30 ●質疑応答・意見交換

※内容は変更になる場合があります。

講演1

公園を中心とした鷹の台のまちづくり ～コミュニティ・コアの提案 Part 2～

わたしたち地域住民が参加と協働を実践することで、わたしたちがより幸せに生活できる環境が実現できるのではないかでしょうか。

これまでわたしたちが手がけてきた事業のノウハウを地元で活かしたいという思いから、この案が産まれました。公園といっしょに生活基盤の中心「コミュニティ・コア」を作るという土地利用の可能性を、ともに考えたいと思います。



- コミュニティ・コア～街の「中心」をデザインする
- マイ・ガーデンパーク～市民が手がける公園の植栽
- キッズパーク、インクルーシブ公園～やさしくつながる小さな社会
- キッチン・ヴィレッジ、シェアオフィス～仕事にアクセスするコミュニティ

相馬 一郎 そうま いちろう

SC 経営士(第48号)。元(株)ストリーム代表取締役。1950年東京生まれ。74年明治大学商学部卒業後、東神開発㈱に入社、玉川高島屋SC、柏ローズタウン等の営業を担当。92年に退職後、(株)プレーンアンドカンパニーの専務取締役を経て、(株)ストリーム創業。商業施設開発に関わる企画立案・実施やマーケティング、MD、店舗リーシング等を総合的にプロデュース。主な実績は、97年サンストリート亀戸のリーシング、2000年チャチャタウン小倉、02年パブリックプラザ丸亀のプロデュース、03年イオン太田SC及び太田「安眠の湯」(温浴施設)の総合プロデュース、09年リオワールド「平成楽市楽座」(岐阜)のリニューアル・リーシング等多数。鷹の台ひとえん会会員。

著書(監修)：『商業ビル・SCの[リーシング戦略]実務マニュアル』

田中 まほみ たなか まほみ

鷹の台ひとえん会代表。1955年東京都三鷹市生まれ。78年東京工業大学工学部建築学科卒業。80年筑波大学大学院芸術研究科修了。80年より積水ハウス(株)にて商品企画開発、展示施設等企画設計、まちづくり計画、地域再生計画等を手がける。

※SC：ショッピングセンター

※店舗リーシング：リース＝賃貸することで適正な借り主を探し出すこと

講演2

学んでから玉川上水を楽しむ～小さな博物館の提案～

学んでから玉川上水を楽しむ
-小さな博物館の提案-

小平市は玉川上水のちょうど中央にあたり、しかも玉川上水のなかでも最も緑が豊かです。また、学校が多いことも鷹の台のまちの特徴です。
玉川上水はやはり市街地になってしまい、そこに武蔵野の動植物が逃げ込むように暮らしています。
それはあるだけではなく、駅周辺にこれら動植物に出会うのを楽しむことができます。でも、それを動植物の命を守るためにどうしたらいいのか悩んでいます。そのためには、玉川上水のことを、そこに住む生き物を学べる施設が必要です。それを学生や鷹の台の方々が作った大変嬉しい施設になるでしょう。

公園予定地に小さな博物館があり、そこで学んでから玉川上水を見てきました。玉川上水が豊かって見えることがあります。私たちが玉川上水の生き物を調べたので、そのお手伝いをしたいと考えています。

博物館の周りに子供が遊べる所があり、流れがあるところにいいでしょう。

鷹の台周辺は玉川上水のちょうど中央にあたり、しかも玉川上水のなかでも最も緑が豊かです。また、学校が多いことも鷹の台のまちの特徴です。

市街地となった武蔵野の動植物は、玉川上水へ逃げ込むように暮らしています。この小さな博物館で、武蔵野の動植物がわたしたちや街とどのように関わっているのか、彼らの名前や生き方を知ってから玉川上水を散策できたら、その景色は今までと違って見えるはずです。

学生や鷹の台の方々といっしょに、ここでお手伝いができるようになれば素晴らしい事だと思います。

高槻 成紀 たかつき せいき

元 麻布大学教授。玉川上水花マップネットワーク代表。玉川上水みどりといきもの会議代表。シカ、タヌキなど日本の野生動物だけでなく、アジアゾウ、モウコガゼルなどアジアの野生動物の生態学研究をおこなう。動物そのもののというより、ほかの生き物とのつながりを重視する。現在は都市の自然にも関心を広げ、玉川上水で動植物の調査を続けている。著書：『唱歌「ふるさと」の生態学』(ヤマケイ新書)、『動物を守りたい君へ』(岩波ジュニア新書)他

鷹の台ひとえん会

『鷹の台ひとえん会』は小平市民等提案型まちづくり条例に基づき、鷹の台駅周辺地区まちづくり準備会として登録されました。2019年5月より活動を始めました。メンバーは、鷹の台駅の周辺で活動されている方々を中心とする小平市民35名です。

お問い合わせは鷹の台ひとえん会事務局：小平市たかの台44-10 (関根栄作税理士事務所内) TEL : 042-386-4667 <http://plant2.qcweb.jp/hitoenkai/>



2021年6月27日開催（会場参加者18名、WEB参加者6名）
「みんなでつくろう考え方鷹の台の街と公園」



2021年12月10日 開催
としまキッズパーク見学会（4名参加）



2022年3月26日開催 (会場参加者18名、WEB参加者11名)
「みんなで作ろう考えよう鷹の台のまちと新公園語る会」



2022年3月27日より

ポスター「鷹の台のまちと新公園を考えよう」を商店街に掲示

●掲示したポスター

**鷹の台のまちと新公園を考えよう
～鷹の台まちづくり注目スポット～**

現在、鷹の台のまちに新しい公園を作る計画が進んでいます。

鷹の台ひとえん会は、
玉川上水や自然、そのまなびの場づくり、またその管理・運営と経済など、
多角的な視点でのまちづくりを、
近隣のみなさんとともに考えたいと思っています。

新公園と中央公園、玉川上水、商店街などをつなぎ、
歩いて楽しめる鷹の台のまちづくりをいっしょに考えませんか。

玉川上水
玉川上水とその分水路にて世界文化遺産登録を!
玉川上水イーレ (Ere)
「Ere(イーレ)」はランダムで「行く・歩く」という意味。
ここでなんせから玉川上水を歩いて楽しく歩いてほしい、
という想いで、この曲線の呼び名として愛称します。

わたしたちの提案
新公園予定地
玉川上水 43km の中にある鷹の台に玉川上水の姿をなる公園をつくります。

今後の鷹の台のまちの発展を分かつ重要なポイント!

鷹の台駅前商店街
新公園の集客力と電気化が活性化のかねとなる!

3つのポイント
1 ジャッター店舗数が増加、駅前もジャッター店舗となっているが、若い世代が新規にオープンし始めている
2 鷹の台だからこそできる魅力を付加した商店街づくり
・緑や水路など自然が豊か
・大学が4つある
・周辺に緑が多い
(新作物の地産地消、連携イベントなど)
3 鷹の台公園、商店街の無電柱化、駅前広場など市の事業がスタートする中、商店街もネクストステージがはじまる。

木もれ日の径
2019~2020年にイベント開催の多い玉川上水でうきは葉村近くの木もれ日の音をリコールしました。

新堀用水
用水路のきれいな水辺をより身近にしたい!

小平中央公園
約2万坪の敷地をもっともっと活かしたい!
さらに将来的には駅南中間道が整備しより整やかになります。

鷹の台ひとえん会
わたしたち「鷹の台ひとえん会」は、
鷹の台のまちづくりに関するみなさまのアイデアや意見をまとめ、
実現に向けて行政など各方面へ提案をしていきます。
この事業は実行委員会を経て実施しています

●たかの台本通りの三合庵という居酒屋の2ヵ所(正面と路地)の掲示板に掲示させていただきました。



2022年3月27日より

ポスター「鷹の台のまちと新公園を考えよう」を商店街に掲示



2022年3月27日より

ポスター「鷹の台のまちと新公園を考えよう」を商店街に掲示



●路地を入ったところにも掲示し
落ち着いてみることができます。



●路地の掲示板は隣のパン屋さんの窓からもよく見えます。